

ITCA 地域ワークショップ（近畿）資料

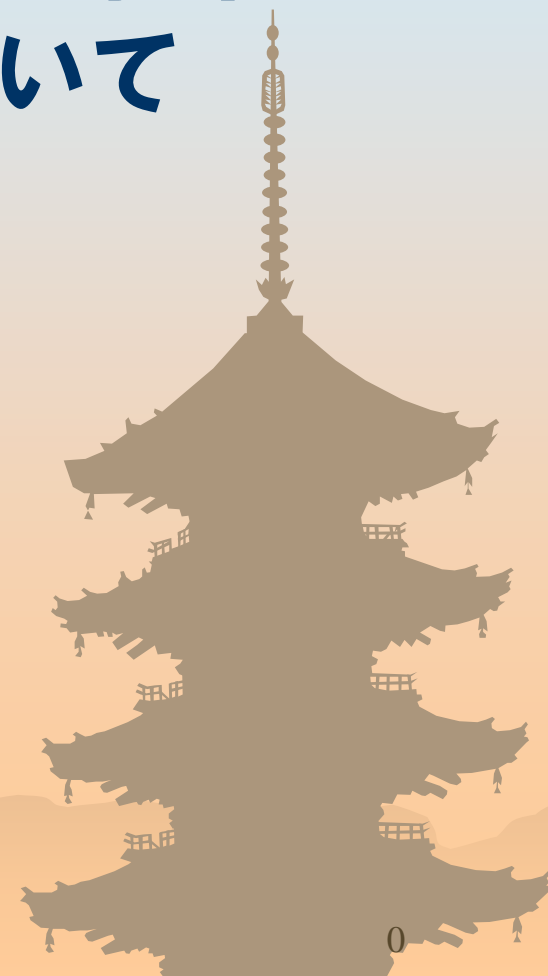
# NPO法人ITコーディネータ京都 活動状況及び計画について

2007年2月21日

ITコーディネータ京都  
広報部長 杉村麻記子

(C)2007 IT Coordinator Kyoto

0



# NPO法人ITコーディネータ京都 概要

**名 称** : 特定非営利活動法人 ITコーディネータ京都

**活動目的** : 中堅中小企業の戦略的情報化に関する支援  
ITコーディネーターの育成、普及  
活力ある地域経済の発展、情報化社会への貢献

三方よし

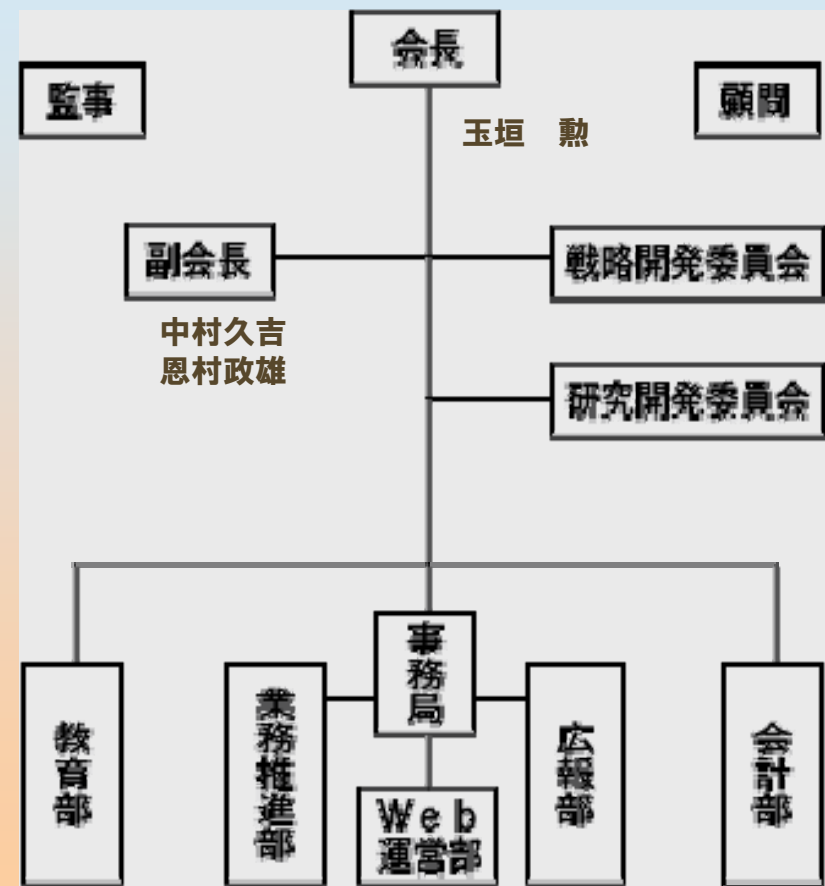
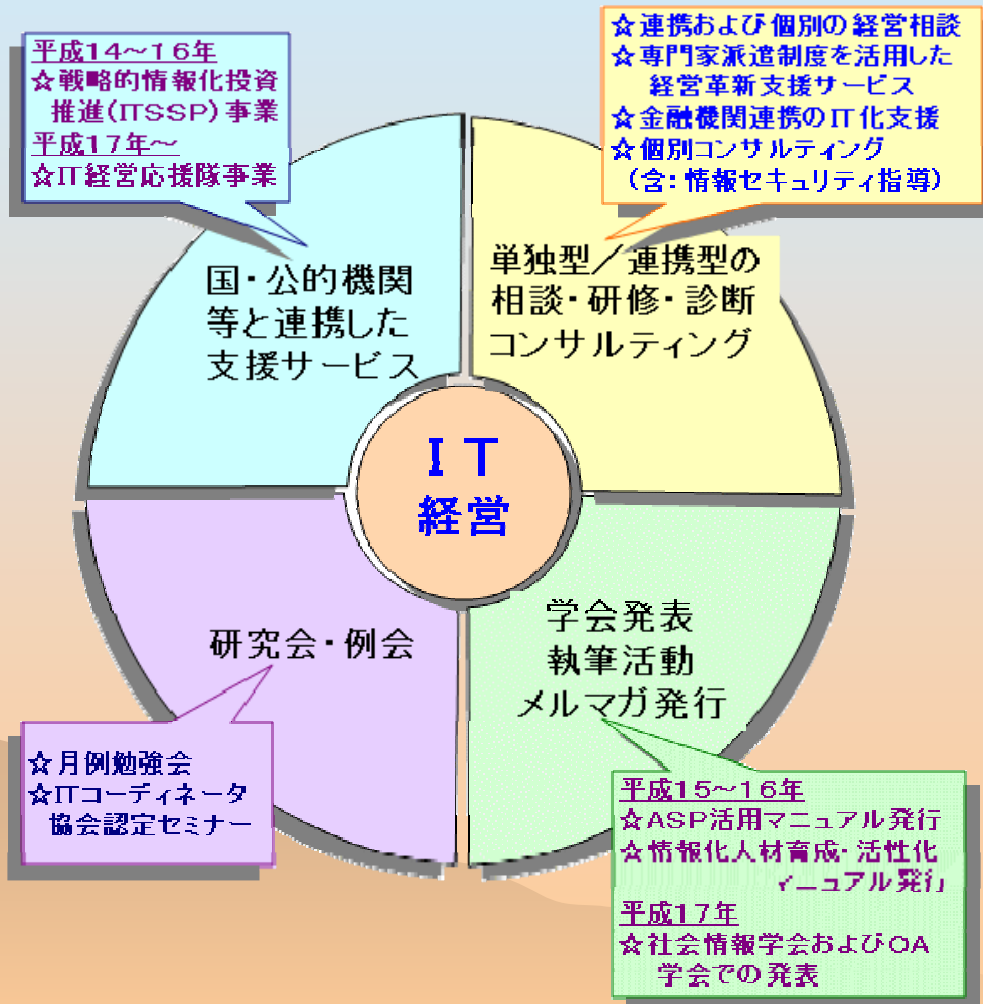
**会 員** : 個人会員 79名  
賛助会員 2社 【2007.1.1現在】

**沿 革** : 2002.4 任意団体として組織立ち上げ  
2004.3 特定非営利活動法人として認定

**連絡先** : 〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル梅湊町83-1  
「ひと・まち交流館 京都」2階 京都市市民活動総合センター内

URL:<http://www.itc-kyoto.jp/index.html>

# ITC京都のドメインと組織



# 2006年のメインテーマ（昨年報告より）

## ❁ 金融機関との連携推進

- 京都銀行
- 商工中金
- 中小公庫、国民公庫

## ❁ 公的機関との共同事業

- 京都市中小企業支援センター
- 京都府中小企業団体中央会
- 京都商工会議所
- 京都産業21・京都府総合技術センター

## ❁ ビジネス化対応の組織体制の整備

- 独自のターゲット企業選定とアプローチ
- IT経営応援隊事業における品質確保
- 中核のサービスメニューの開発
- 事業実施体制確立のための人材確保及び教育・育成



# 2006年度の主な活動内容

## ❁ 金融機関との連携事例

- 中小公庫京都支店から、経営者研修会への参加者紹介  
(引き続きCIO育成研修にも参加)
- 中小公庫および商工中金も含めて更なる強化を計画

## ❁ (財)京都産業21との関係づくり(次頁参照)

- 第1弾として、ITC活用を呼びかける事例発表会を実施  
ITコーディネータはこう使え! 余計な力を使わないIT推進~

## ❁ 地域のITベンダーとの連携

- CIO育成研修会に京都コンピュータシステム協同組合から4社16名が参加  
これを機会に、ITベンダーとの連携を模索していく

## ❁ 日中文化の相互理解とIT関連事業の共同開発(次頁参照)

- 第一弾として、セミナーを実施し京都地域の人々に日中関係のスムーズ化と  
中国のパワーを有効に活用するための秘訣を紹介
- 今後も多様な人材と活用した展開を図っていく

# 2006年度の主な活動内容（Cont'）

京都ITコーディネータ会 / 京都インターネット利用研究会 (共催)

## ITコーディネータはこう使い！ ～余計な力を使わない！IT推進～

現在の中小企業者にとってIT化の推進は必須の課題です。IT推進のために「人・もの・資金」を投入する際に的確に指導・助言を買える組織・団体等があれば、「はじめの一歩」を踏み出し易くなるのではないのでしょうか。

1998年8月、ITを基盤にした21世紀のわが国企業の国際競争力の向上を目的に、通産省(現経済産業省)の産業構造審議会 情報産業部会 情報化人材対策小委員会の提議に基づき「ITコーディネータ」という資格制度が創設されました。

ITコーディネータとは「経営とITの双方に通じ、経営者の立場にたって経営戦略の立案からそれを実現するシステムの構築・導入までを一貫してサポートできる人材(ITコーディネータ)」であり、ITコーディネータは「IT革命の切り札」とさえ言われています。

この度、私共では、「IT推進を考えているが「はじめの一歩」を踏み出せずにいる企業に対し、ITコーディネータの説明、役割、積極的活用法についてセミナーを開催いたします。

また、「ITコーディネータの協力のもと作成された、京都試作ネット/株式会社京都試作工房のシステム「懸賞システム」についての紹介、実際にITコーディネータの指導を受けられた企業様から、その活用の事例についてもお話を頂きます。

日時：平成19年1月30日(火) 15:00～17:00 **参加無料**  
 場所：京都府産業交流センター 5階研修室(下京区中堂寺町1-3-4)  
 講師：藤原 正剛 氏 (ITコーディネータ、中小企業診断士)  
 鈴木 暲也 氏 (京都試作ネットメンバー、株式会社最上インクス取締役、株式会社京都試作工房副社長)  
 鈴木 祐介 氏 (株式会社京都試作工房)  
 定員：50名  
 主催：財団法人京都産業21 / 京都インターネット利用研究会

※お申し込みいただいた際、特にご連絡はいたしません。定員オーバー時のみ、ご連絡申し上げます。

お問い合わせ先 財団法人京都産業21 経営革新推進営業推進グループ(藤原、鈴木)  
 TEL 075-315-8848 FAX 075-315-0240 e-mail kaikaku@ki21.jp

## ＝ ITコーディネータ京都 2007年新春の無料セミナー ＝

日本と中国の橋渡し役を任ずる **日中文化の相互理解と**  
 二人の偉才が、2国間事業の  
 成功法を解き明かします！ **IT関連事業の共同開発**

特定非営利活動法人ITコーディネータ京都は、2007年新春セミナーとして、「日中文化の相互理解とIT関連事業の共同開発」を開催します。このセミナーでは、ビジネスマンから一般市民まで広く受け入れ、京都地域の人々に日中関係のスムーズ化と中国のパワーを有効に活用するための秘訣を伝授します。(参加費は無料) 講師は、中国に生まれ育ち、長年にわたり日本で活躍しておられる二人の偉才です。国際事業展開に関心のある方は、是非この機会に、ご参加ください。

### ■ 第1部 「企業の海外進出と異文化理解」 講師：? 軍(パン・ジュン) 中国青島市出身

中国海洋大学物理学部、科学技術研究所にて勤務後、1992年来日。現在、同志社大学にて、現代中国社会などに関する講義をしながら、現代中国の労働力移動、京町家などの日本の伝統文化について研究中。京都府名誉友好大使 社会学博士。

【講師からのコメント】中国へ進出する日本企業は年々増えています。その中で、順調に事業を展開している企業もあれば、悪戦苦闘している企業もあります。これらの企業は、多かれ少なかれ事業を展開して行く過程で異文化体験をしています。今回は事例を交えて、文化とは何か、異文化を理解するにはどうすれば良いのか、皆さんと一緒に議論しながら、近くて遠い国、中国—中国人、中国ビジネスについて考えましょう。

### ■ 第2部 「文化の違いをオフショア開発に活かした、高品質&スピーディーな開発」 講師：戴春莉(タイ・シュンリ) 中国北京市出身

南京大学情報処理工学部を卒業後、京都工芸繊維大学大学院造形学科工業デザイン修士課程修了。松下電工株式会社の本社デザイン部勤務中に、情報処理の分野でもデザイン手法が必要である事を実感。現在、京都の松村株式会社システム開発室にて、デザイン手法を活かし、ユーザー満足度の高いシステム作りに従事。

【講師からのコメント】IT(情報技術)は国境のないスピーディーな時代に入っています。情報システムの開発作業を海外企業に委託するオフショア開発もますます活発化しています。しかし、文化と習慣の違いによってコミュニケーションをうまく取れず、お互いに苦勞することは多々あります。今回は、私の中国へのオフショア開発の経験に基づき、トラブルを最小限に抑え短時間且つ信頼性あるソフトの開発を実現するコツをご紹介します。

- 会場：京都産業会館 2階セミナールーム(京都市下京区四條通室町東南角)
- 日時：2007年1月20日(土) 13:00～17:00
- 主催：特定非営利活動法人ITコーディネータ京都
- 申込・問合せ：「2007年新春無料セミナー」と記載して、下記アドレスへ、e-mailください office@itc-kyoto.jp (所属・役職、氏名を明記してください)

※ ITコーディネータの方は、ITC協会認定の1知識ポイント(4時間分)が付与されます。

(特定非営利活動法人)ITコーディネータ京都

# その他、2006年活動実績

## ● IT経営応援隊事業

- ① IT経営革新セミナー&個別相談会 主催：(財)京都市中小企業支援センター  
2006年7月4日
- ② IT経営を目指す経営者研修会 主催：ITC京都  
2006年8月～9月(計4回)
- ③ IT経営構想に向けたIT経営成熟度診断事業 主催：(財)京都市中小企業支援センター  
2006年8月～10月(6社)
- ④ CIO育成研修会 主催：ITC京都  
2007年1月～2月(10社)

## ● 教育事業

定例研究会の開催及び生産管理セミナーシリーズ化(次頁参照)

## ● メールマガジン配信

毎週1回発行

京都地区の支援機関や経営者、CIO、ITCを中心に400通配信中

# その他、2006年活動実績（Cont'）

## 生産管理セミナー（3回シリーズ開催）

- ①-1 5Sの実践紹介  
枚岡合金工具(株) 代表取締役 古芝 保治氏
- ①-2 生産改善手法の紹介  
(有)OYMコンサルティング 代表取締役 大山 繁喜氏
- ② 生産システム構築のポイント  
(株)アスコット 代表取締役 森井 義雄氏
- ③-1 生産システム構築の本当のポイントはどこにあるのか  
(株)フェムト 代表取締役 梅谷 康子氏
- ③-2 QCDの徹底追求で顧客満足度向上の取り組み事例  
(株)ミヤジマ 代表取締役 宮嶋 誠一郎氏



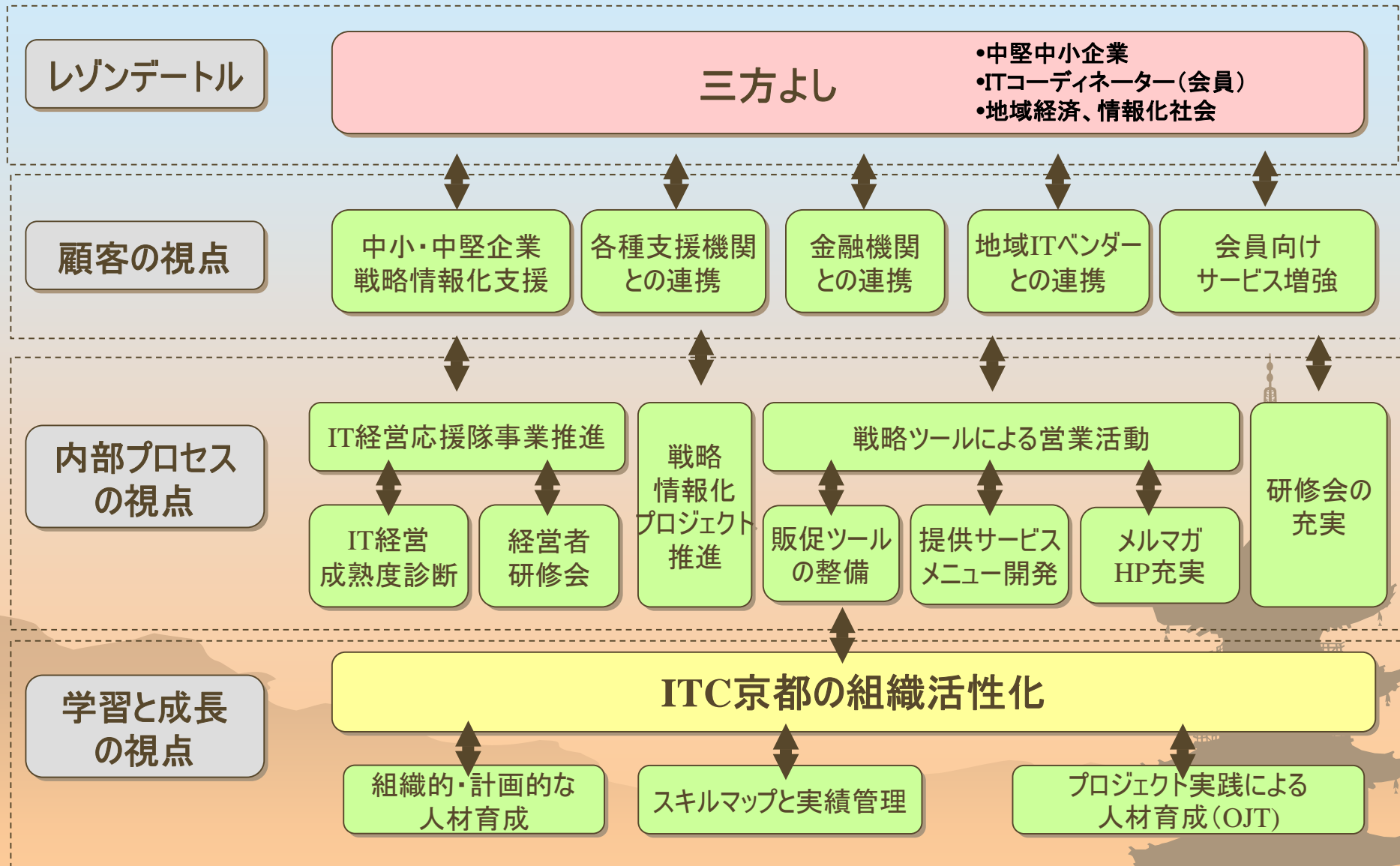
# モニタリングと評価

- ① **金融機関および公的中小企業支援機関との活発な連携**  
→中小企業支援センター、京都産業21との連携
- ② **特定分野での独自研修会の開催、経営者向けの気づき事業の実施**  
→生産管理セミナーシリーズ、京都コンピュータ組合との連携
- × ③ **提供するサービスメニュー設計と開発、販促ツールの整備**
- △ ④ **ハイレベル人材を教育講師に活用した組織的・計画的な人材育成**  
→メンバー増強あり
- ⑤ **IT経営応援隊事業を活用した支援見込先の確保・増大**  
→IT経営応援胎児業を中心に展開
- × ⑥ **会員ITCのスキルレベル把握とスキルマップ作成**  
**および業務実績の評価登録**

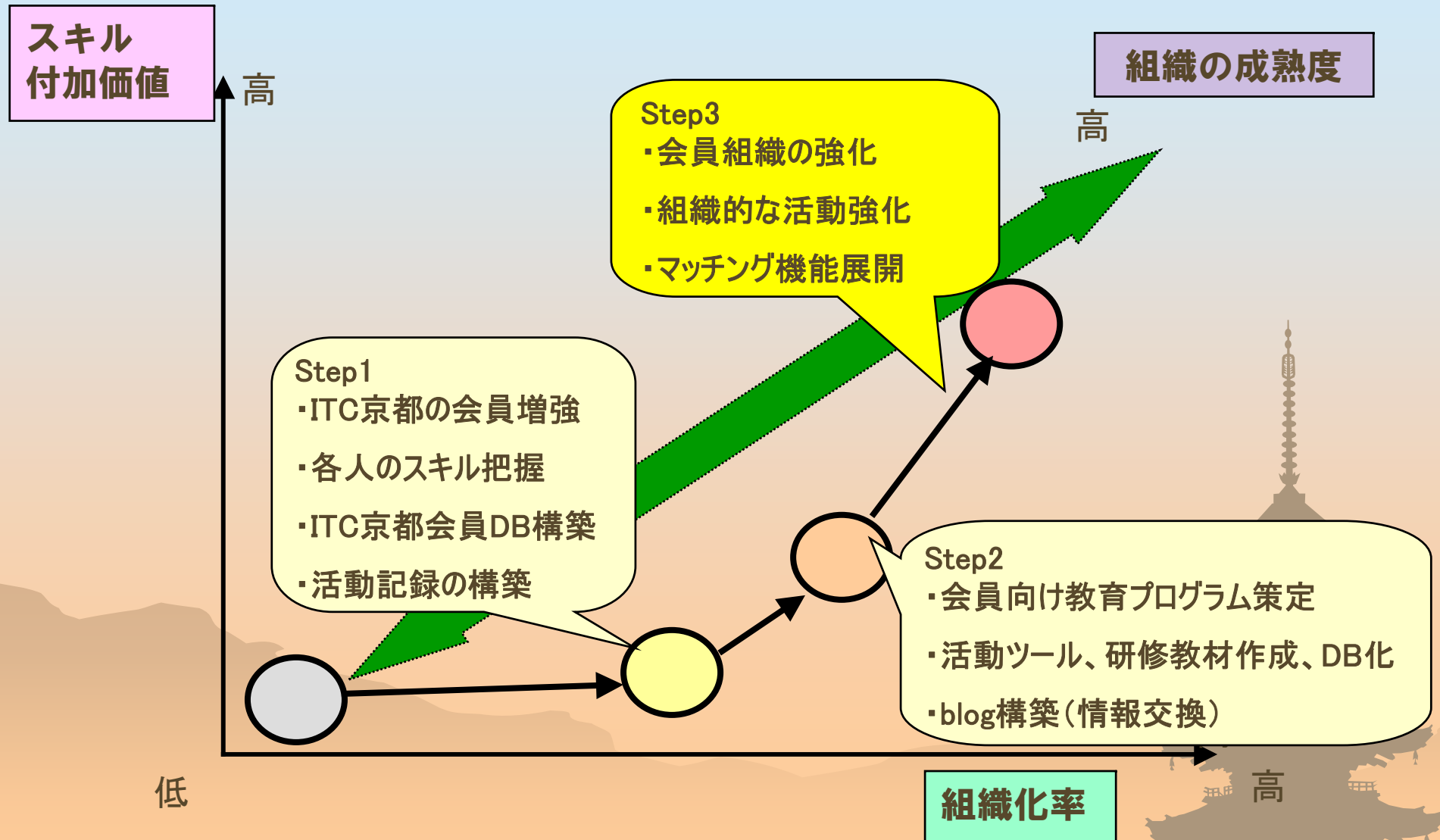
# 2007年度にむけて・・・

1. 従来からの活動方針である「金融機関との連携」「公的機関との連携」に加えて、「ITベンダとの連携」による事業推進を行う。
2. 2006年度重点施策において不十分であった二つ（③、⑥）について、以下の施策推進を検討する。
  - －人的資源の活用⇒支援者とのWIN-WINの関係強化  
ROMメンバー活性化のための徹底した情報の公開、共有化。メンバー人脈の活用
  - －戦略ツールの開発⇒強みの創出  
何が中小企業経営者にとって有効なツール、情報、仕組みなのか、選定とその開発
3. 多様な人材による新たな活動領域への展開を図る。
  - －日中セミナーIT関連事業の共同開発など新たな可能性へ・・・
4. 地域情報化への貢献を果たす。
  - －ひとまち交流館京都（弊法人事務所所在地）において、京都地域の人々へのIT啓蒙活動の推進

# 戦略マップ



# ITC京都の組織活性化Step



# Back up Slide

